

平成 24 年度市長施政方針

協働のまちづくりへ「ふみ出そう新たな一歩」

第3次狭山市総合振興計画後期基本計画のキーワード  
「協働」、「都市基盤」、「子育て支援」の諸施策を推進

24年度予算案の総括

平成24年第1回定例会市議会(会期:2月23日～3月16日)で、仲川市長が市政運営に向け、施政方針を述べました。その概要と24年度の重点事業をお知らせします。

施政方針を述べる  
仲川市長



私は市長就任以来、市の将来像である「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向け、第3次総合振興計画に位置つけた諸施策に取り組み、計画の総仕上げである後期基本計画の目標達成にさらに邁進します。具体的には、後期基本計画のキーワードである「協働」、「都市基盤」、「子育て支援」を3本の柱とし、優先的に取り組みます。

協働では、本年7月に狭山市駅西口地区にオープンする市民交流センター内に市民センターを開設し、市民の交流や自主的な活動を促進する場の充実を図ります。また、協働によるまちづくりの担い手を育成するため、旧狭山台北小学校を活用した専用キャンパスで狭山元気大学事業を実施します。都市基盤では、狭山市駅西口地区再開発事業が本年6月に完成を

迎えますが、引き続き魅力のあるまちづくりを目指して、豊かな自然を残しつつ、市民生活の拠点となる駅周辺の整備をはじめ、道路ネットワークの構築を推進し、安全で快適な都市環境を確保します。子育て支援では、中学3年生までの医療費の無料化を継続するほか、市民交流センター内に総合子育て支援センターを開設するなど、安心して子育てができるまちづくりを推進します。



さまざまなイベントに活用が期待される狭山市駅西口市民広場

24年度予算編成では、新たに事業別予算を導入しました。これにより、実施計画から予算編成・予算執行、決算、行政評価までを一連のサイクルで実施し、事業の明確化を図るとともに、行政の透明性の向上に努めます。

歳入について、市税のうち市民税は微減、固定資産税及び都市計画税は評価替えの影響による減を見込み、市たばこ税は増額としました。地方交付税は、国の動向や23年度の交付実績により、普通交付税は増額、特別交付税は同額としました。国庫支出金は減額、県支出金はほぼ同額とし、繰入金は微減、市債は減額としました。

歳出について、第3次総合振興計画後期基本計画の5つの重点的な取り組みを効果的に推進するため、地域を支える人材育成などの狭山元気大学事業費、都市計画道

緑豊かで環境と共生する  
まちをめざして【環境共生】

路の最優先整備路線に位置づけている狭山市駅上諏訪線の整備事業費、教育環境の充実を図るための小中学校校舎などの耐震補強事業費と空調設備改修事業費のほか、予防接種助成事業費や農業支援事業費など、選択と集中のもとに十分な予算配分を行いました。

地球環境の保全は、第2次狭山市環境基本計画がスタートする年であり、地球温暖化防止対策を目的とした自然エネルギーの活用促進のため、住宅用太陽光発電システム設置補助事業に引き続き取り組みます。

緑地保全の推進は、平地林をはじめ、斜面緑地の保護や市街地に残された緑地についても、みどりの基金を活用しながら保全に取り組みとともに、市民団体などとの協働による緑地保全活動を推進します。

快適な生活環境の確保は、空間放射線量の定期的な測定を実施し、正確な現状把握に努め、速やかに公表するとともに、市民からの相談に対応します。

循環型社会の形成は、市と市民、事業者との協働で、「もったいないで見直す私たちのライフスタイル」をキーワードに、不要なもの断る、ごみの減量、再利用、資源化の普及啓発に努め、ごみの減量とリサイクルの推進を図ります。また、稲荷山環境センターは、長寿命化計画により施設の延命化を図り、ごみ処理の安定化に努めます。

元気で幸せに暮らせる  
まちをめざして【健康福祉】

健康づくりの推進は、関係機関や関係団体との連携のもと、地域における健康づくり活動を展開していくとともに、引き続き生活習慣病の予防やがん検診、予防接種事業などに取り組みます。

介護予防の充実、24年度からスタートする第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括支援センターの人員体制の強化を図り、高齢者の総合相談やネットワーク機能の充実とともに、介護予防の意識啓発を推進します。

障害者自立支援の促進は、引き続き福祉サービスの提供に努めるとともに、相談支援事業においては、基幹相談支援センターを設け体制の充実を図ります。

仕事と子育ての両立支援は、笹井、狭山台南保育所で、土曜日の保育時間を従来の午後1時30分までから午後6時まで延長するとともに、給食調理業務を民間事業者委託して対応します。また、引き続き待機児童対策に取り組むとともに、保育園保育所の建て替えに向け、新園舎の建設に着手します。さらに、新狭山小学児童保育室の増改築工事を実施し、保育環境の改善を図ります。

低所得者福祉の充実、生活保護受給者が増加傾向にあることから、就労可能な被保護者に対して就労支援や就労相談などを積極的に行い、社会的自立を促します。

快適で魅力のある  
まちをめざして【都市基盤】

狭山市駅西口周辺地区整備事業は、公衆トイレを備えた街角広場、街区公園などを整備します。

狭山市駅東口土地区画整理事業は、建物移転や道路整備などを積極的に進め、事業の早期完成を目指します。

入曽駅東口地区の整備は、入間小学校の跡地の有効活用を図り、市南部の地域拠点にふさわしい駅前となるよう、駅前広場や道路整備などの方向づけと、地権者や地域の協力と理解を深める取り組みを進めます。

都市計画道路は、狭山市駅上諏訪線の中央児童館東交差点から国道16号までの区間について、24年度の早い時期に事業認可を取得し、用地買収を進めます。また、東京狭山線は、現在、堀兼地区で道路築造工事、狭山台地区で4車線化工事が進められており、24年度中の開通を目指しています。



生涯学習や子育て、男女共同参画の拠点となる市民交流センター